



「風さやか」通信 (第2号)



各地で水稻「風さやか」の栽培試験の取組が行われています！ 「風さやか」専用一発型肥料の検討

本年、JA上伊那と上伊那農業農村支援センターでは、伊那市東春近で「風さやか」専用の改良型一発型肥料の現地試験を行っています。

一発型肥料とは田植後の生長に即効的な肥料のほか、穂肥となる緩効性の被覆肥料を配合したものです。田植機に肥料を仕込み、苗の株元近くの土中に肥料を入れていきます。

施肥が1回で済んで省力的ですが、良質な米づくりのためには、穂肥の効き時が肝心ですので、品種に対応した効果的な一発型肥料の開発に苦労しています。結果に期待です！



「風さやか」の田植え同時施肥（一発型肥料）

※GPSによる直進アシスト機能がついた最新型田植機で…(2020年5月13日、伊那市の農事組合法人・田原にて)

6月中旬の「風さやか」栽培の留意点・ポイント

1. 浅水管理で生育促進！

水深は3cm程度、こまめな水管理を

田植えをして数日すると、稲の新しい根、葉っぱや茎が出て、生長する栄養成長期に入ります。この時期は水深3cm程度の浅水で管理し、水温と地温の上昇を図り、良質な有効茎（穂がつく茎）の発生を促します。

良質米生産には初期生育の向上、「スタートダッシュ」が肝要です。「よい茎」→「よい穂」→「よいお米」とつながりますので、丈夫でしっかりした茎づくりに努めてください。

2. 早めの雑草対策！

中後期除草剤の効果的な使用を

5月は好天続きで気温も高く、ヒエやホタルイなどの水田雑草の発芽・生長も早く、また、藻類の発生が多かったりするなど、田んぼによっては取りこぼした残草が散見されます。雑草は生長すると、防除が難しくなりますので、田んぼを見回り、早めに中後期除草剤で対応するようにします。

除草剤購入の際は雑草の種類を確認し、JA等の販売店に御相談ください。

※ 県下各地の「風さやか」の田植えは終了したようで、活着とその後の生育は概ね順調となっています。今後も適切な栽培管理で品質向上をお願いします。

お問い合わせ先：「風さやか」推進協議会（長野県農政部農業技術課内 担当：伊東）

TEL: 026-235-7221 FAX: 026-235-8392 e-mail: kazesayaka@pref.nagano.lg.jp